

M1 学生：

本公演では Ultra-High Energy Cosmic Ray を観測している Telescope Array 実験とその周辺実験の紹介を聞いた。自身は放射線検出器を開発しており、断層の測定を目指している。自身の研究は地球環境を測定する防災のための実験なので、今回のような物理学分野の実験で放射線検出器を活用する実例は断層測定の検出器の開発ためにも勉強になりました。また、講演後ではあるが Telescope Array 実験で使用している検出器の放射線の検出原理は同じであることがわかった。本公演を通じて放射線検出器は応用先によって防災、物理学だけじゃなく幅広い分野に活用できるのだらうと理解した。

B4 学生：

今回は私の参加している、超高エネルギー宇宙線観測実験の管理運営をされている John 先生の話聞くことができ大変貴重な経験になりました。私は工学的な側面からこの実験に参加しており、理学的側面からこの実験を運営している John 先生の話はとても新鮮で、新たに気づくことが多くありました。今回の実験全体の概要の話聞いたことで、自分の行っている較正技術の研究を進めていく上で、この国際共同実験に対して自分がどのように寄与していけるのかを考え直す機会になりました。